

来春オープン予定！宿泊棟を建設します

これまで夏の間使っていた住宅を改築してスタッフやボランティア、体験者が宿泊できる宿泊棟を建設します。10月6日工事着手、来春オープン予定です。（120㎡平屋、個室2つ、大部屋2つ、宿泊定員15人）

解体した住宅の廃材は、秋のワークキャンプに参加した学生や外国人ボランティアによって片付けられました。

壁塗り他内装工事のお手伝い、資材や資金のご協力など応援よろしくをお願いします！



解体した住宅の廃材を片付ける外国人ボランティアと学生

地域の仲間紹介

【余市町の醸造家 小西史明さん】

醸造代表。東京都内のマンションのベランダでワインドウを育てたことがきっかけで就農。自宅を改造した小さなワイナリーを経営。ブドウ畑は小高い丘の上であり、シリバ岬や海も見渡せます。



醸造造ホームページ：<http://noborijozo.comyoichiyoitoko.htm>



会員募集！

NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト（HEPP）の活動は、みなさんの会費、寄付金で支えられています。

週末畑に通う人、イベントに参加したい人、野菜や果物を買って農業を応援する人、移住して起業したい人、多様な参加の機会とつながりを広げていきます。あなたも仲間になりませんか。

・正会員：年会費一口10,000円
総会の議決権があり、会の運営に参加できます。

・サポート会員：年会費一口5,000円

情報誌やメールにて活動報告や各種イベントのご案内をします。

・ゆうちょ銀行から（振替用紙をお使いください）

【口座番号】 02700-9-85080

【口座名義】 北海道エコビレッジプロジェクト

・その他の金融機関から

【銀行口座】 北洋銀行 円山公園支店 普通 4031861

【口座名義】 トクヒ ホッカイドウエコビレッジスイシンプロジェクト

お問い合わせ & アクセスマップ

【NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト札幌事務所】

札幌中央区宮ヶ丘2丁目1-1-303

【余市エコカレッジ】

余市郡余市町登町1863

*JR余市駅からバスで10分

(赤井川線でモンガク下車)、
徒歩3分

TEL/FAX 0135-22-6666

メール y.ecocollege@gmail.com

<http://ecovillage.greenwebs.net/>



Cafe B&B



〒046-0003 余市郡余市町黒川町10丁目3-27

TEL&FAX: (0135)48-6544

EMAIL: Yoichi-tera8@kkh.biglobe.ne.jp

URL: <http://comiresu-Hokkaido.net>

余市テラス 営業日: 土/日/月 営業時間: 11:00-18:00



エコビレッジ note



Vol. 23, Oct. 2015



NPO法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト
(HEPP: Hokkaido Eco-village Promotion Project)
<http://ecovillage.greenwebs.net/>

余市エコカレッジ活動紹介

8/2～7日 福島キッズ初めての余市開催

福島からの小中学生31名が余市で5日間を過ごしました。収穫したばかりのブルーベリーを使ったジャムやケーキ作り、「国指定史跡旧余市福原漁場」の見学、趣向をこらした「子ども祭り」の開催など、たくさんの経験をしました。ホームステイの受け入れをはじめ、炊き出しや洗濯でお手伝いしてくれたボランティアの方々、ご協力ありがとうございました！



8月12～17日 夏のワークキャンプ

フランスから来たボランティア3人に関東の高校生3名が加わって、果物の収穫や加工、小屋の基礎作りに挑戦しました。「助け合って生きるってどういうことかわからなかったけど、わかった気がした」「エコな暮らしに関心が高まった」という高校生たち。関東ではなかなか見られない満点の星空に大感激でした。



ブルーベリーの選別をする高校生



小屋作成中のフランス人ボランティア

9月8日「よいち・にき秋季スイーツキャンプ」開催

過去のスイーツコンテスト受賞者ら13名が集い、果物の作り手と使い手が研究交流を深めました。山本観光果樹園やまるまったファームなどを訪ねて、果物の歴史や栽培技術について学び、最後はエコカレッジの「学び舎」にて気付きや学びをシェア。冬季キャンプではプロのパティシエによる製菓教室を計画しています。



7月のエコカレッジ

第4回講座は笠倉暁信さん（森林整備公社）を講師に、裏山の雑木林を調査し、森を育て活用する方法について学びました。これまでひどい藪のまま放置されていた森ですが、その価値を再認識し、その週はさっそくボランティアの若者たちと藪を切ったり、下草を刈ったりしました。楽しみながら息の長い取り組みをしていきたいものです。



樹木に絡まった藪を切る作業

8月のエコカレッジ

第5回講座は、トランジションタウン藤野、鎌倉、横浜のみなさんに加え、地元の「登醸造」の小西さん、今年オープンした「小岩養蜂園」の小岩さんという豪華な講師陣でした。初日は関東でのトランジションタウン事例を学び、翌日は実習で蜂蜜を抽出する体験や、ワイン畑をトラクターに乗り見学後、ワインの試飲をしました。



登醸造のワインぶどう畑を巡るツアー



蜂蜜を抽出する作業中

9月のエコカレッジ

第6回講座は、「余市のぼりんファーム」にて。5月に手蒔きした蕎麦を機械収穫して納屋で乾燥させたものを「唐箕（とうみ）」を使って選別しました。最終回に新蕎麦を打って食べるのが楽しみです。翌日は「北海道観光まちづくりセンター」代表の宮本英樹さんをお迎えし、「田舎で起業」をテーマに「農畜産業、観光、健康、教育、食」など様々な分野をつないだ大沼における新事業についてお話していただきました。



収穫したそばの実を触って確認



「唐箕（とうみ）」で選別